

おたがいサマーズ (第18号 平成30年6月27日)

先だって、本木に住む知り合いの田植えを手伝いに行ってきました。とは言え大半の作業を機械が担っておりますので、苗を配るのみの比較的軽い仕事です。爽やかに汗水を流した後のビールは格別！しかし、案の定次の日には筋肉痛に苛まれることになるのでした。

さて、協議体においては、「ささえ合い」を具体的に実行している地域、そして実行を考える・試みる地域等から、多様な方々が集まっています。ささえ合いの実現には、協議体という枠に留まらず、自治会、民生委員、郷づくり等々、その地域に住む方々からの協力が不可欠です。

「若木台3区 サポートの会」

「若木台3区サポートの会」は、自治会と上手く融和して活動しています。外出支援、作業支援、見守り活動も全て、自治会のメンバーである地域住民の力を借りています。

例えば、日々の見守り活動においては、290世帯を4つのグループに分け、各グループに6~8名のサポーターを置き、各自が時間を取れる時に「見守り、声かけ」をしています。これはご近所との関わり、その基本的なコミュニケーションの「延長線上」に行われています。その結果、サポーターが外出支援、作業支援のニーズを把握でき、その後の具体的な活動にも結びつけています。若木台3区においてはこれにより、市役所等公共施設、病院、サロン、駅、銀行、買物施設と、各地への外出支援がすでに実現しています。

「向こう三軒両隣」の気持ちが地域を支え合うとの考えの下、このようなユニフォームを着て活動されています。グループリーダーから「友愛訪問(見守り、声かけ活動)が一番の地域力。やさしいまちづくり・さりげない助け合いの場につながっていると思っている。」とのお言葉がありました。



「ささえ合いで外出支援」

移送支援には様々な方法があり、1事業ですべてをまかなえるものではありませんが、ささえ合い協議体で話し合ってきたことのひとつの成果として、市の外出支援事業が今年度から予定されています。詳細は今後示されますが、車両の確保や保険のことは市と社会福祉協議会が担い、地域はサポーターや利用者を募集し運行するような方法になる見込みです。

幸い前回(第20回)の協議体のアンケートで生活支援コーディネーターと一緒に地域のことを中心となって考えるメンバーを募集したところ12名の方に手を挙げて頂きました。(引き続き募集中です。)今後はこの方々とともに、地域の関係者と打ち合わせをしながら、そこに住む人々と手を取り、住みやすいまちづくりをしていきたいと思います。

こんなことしています！

● (6月15日 金)

宗像市城山中校区の地域づくり研究会メンバー(30名)が、「くらしのサポートセンター サンクス」の視察研修にお見えになりました。



● 「朝のみまもり隊と小学生のワンシーン」

友達と待ち合わせをしているときに、小学生の子どもがおじさんたちのお手伝い(ゴミ拾い)をしてくれました。ありがとうございます！

ゴミで一番多いのは煙草の吸殻、火事のもとにもなりますので絶対にやめましょう。



● 「津屋崎小学校4年生の社会科見学」

宗像警察署への社会科見学。後日には警察の方々が小学校を訪れ、交通安全教室が開かれました。こちらは前日の写真。お巡りさんたちがパトカーや白バイに(安全のため停まっています)、子どもたちを乗せてくれました。想像するだけで童心に戻って楽しくなりますね……！

今後のスケジュール

協議体 第22回	7月25日(水)
市役所 大ホール	18:00~19:30
協議体 第23回	8月22日(水)
市役所 大ホール	18:00~19:30



これから暑くなりますので、無理せずこまめな休憩や水分補給をするなどして熱中症に気を付けましょう。

問い合わせ 連絡先

● 市役所窓口 高齢者サービス課(中村、桑森、花田) : 0940-43-8298

● 生活支援コーディネーター 問い合わせ(清水、則武) : 080-3180-8839 (清水)

地区での取り組みに関するご相談、ご質問など、話し合いへの参加もしますよ！